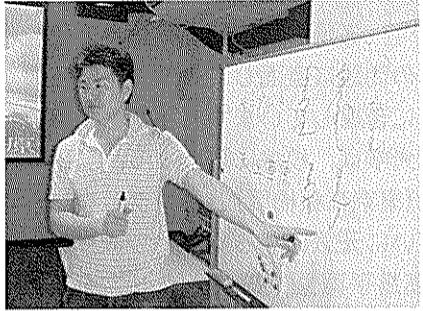


都民連 だより

7
月

平成21年7月(第45巻1号)
都民連だより

△内モンゴル留学生による文化交流会。
異文化にふれ、新しい発見があります。



△住民を集めて開かれる英会話教室。「難しいなあ」などと言しながら、みんなで楽しく学び合っています。

目 次

卷頭関連記事	(2)
事業通信	(2)(3)
活動記録あれこれ	(3)
特集:「民生委員・児童委員活動実態調査報告からみえた活動の現状」	(4)(5)
ティールーム	(6)
東社協コーナー	(6)
ネットワーク対談	(7)
ほっとな短通信	(8)
編集後記	(8)

学生と住民が挑む 団地再生

地域力

地域力

学生による 団地再生活動

篠原 章

(大東文化大学環境創造学部長)

今、各地の団地は高齢化や老朽化等の問題に直面し、大学は少子化対策に苦慮しています。私たち大東文化大学は、校舎に隣接する高島平団地(東京都板橋区)とリンクしながら、互いに元気になろうという取り組み「高島平再生プロジェクト」を進めています。スタートは平成16年ですが、19年度に文部科学省現代的教育ニーズ取組支援プログラムに選定され本格的に動き出しました。

地域住民の方々との幅広い交流の場となるコミュニティカフェの運営、地域情報発信の拠点となるミニFM局の設置、住民の方々を対象とした英語・中国語教室の実施(講師は学生)、階段の上り下りに苦しむ高齢者を対象とした「膝イタ体操教室」や食育を目的とした養蜂事業などの活動により、笑顔あふれる地域づくりが進んでいます。これらは、プロジェクトの一環として団地に入居する24人の学生(留学生を含む)を中心に進められています。入居学生の家賃の一部は、上記のボランティア活動で得られた地域通貨で支払うことができ、地域活動が学生の経済負担の軽減にもつながっています。

活動を通じて学生の創意と主体性が高まり、住民の方々からも「頼られる存在」になっています。団地と学生を元気にするこうした活動に、私たちは今後も意欲的に取り組んでいきます。

(2)